

ST 未来創造 I / II

心理安全性向上 チームづくり

2



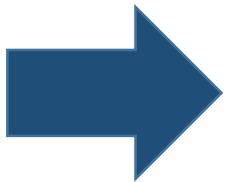
大金をかけた「大プロジェクト」グーグルが突きとめた！

社員の「生産性」を高める唯一の方法

プロジェクト・アリストテレスの全貌

グーグルが、社内で優秀な成果を上げている「生産性の高い」チームにはどういう特徴があるのか？大規模に調査した

- ・ 同じチームに所属するチームメイトは、社外でも親しく付き合っているか
- ・ 彼らはどれくらいの頻度で一緒に食事をしているか
- ・ 彼らの学歴に共通性はあるか
- ・ 外向的な社員を集めてチームにするのがいいのか、それとも内向的な社員同士の方がいいのか
- ・ 彼らは同じ趣味を持っているか



すべて相関関係はなかった

唯一、ある種のパターンとして浮かび上がってきたのはメンバーの構成に関係のない「**成功の法則性**」に関するものだった。

同じ人でも成功するチームに入れば何をやっても成功し、失敗するチームに入れば何をやっても失敗する。

つまり「**同じ人でもチームが変わればダメになる**」そのようなパターンであった。

成功のカギは **「心理安全性」**

「こんなことを言ったらチームメイトから馬鹿にされないだろうか」

**この仲間ならば何を言っても大丈夫だという
安心感**

心理安全性を高める
アクティビティ

ワーク1 「その人を探せビンゴ」

【ルール】

- 1 質問して、答えることができたならその人のサインをもらう
- 2 同じ人に聞いてはダメ
- 3 タテ、ヨコ、ナナメ 一列揃ったら「ビンゴ！」

その人を探せビンゴ！

年 組 番 氏名 ()

【ルール】

- 1 質問して、答えることができたならその人のサインをもらう
- 2 同じ人に聞いてはダメ
- 3 タテ、ヨコ、ナナメ 一列揃ったら「ビンゴ！」

ラーメンよりもカレーが好き	野球は日ハムファン	古いのは喜ぶ	目玉焼きには醤油だ	担任の下の名前を言える
犬よりも猫が好き	札幌市民ではない	片づけは得意だ	朝日より夕日が好き	朝は6時前に起きる
歌は平均よりも高い	生まれ変わるなら男が欲しい		体育学習は大事だと思う	料理ができる
雲の存在を感じている	誰にも言えない秘密がある	私には夢がある	中学からやり直したい	赤より青だ
コンビニはセコマが好き	朝はパンよりご飯	暑より秋が好き	学食を利用したことがある	海外で暮らしてみたい

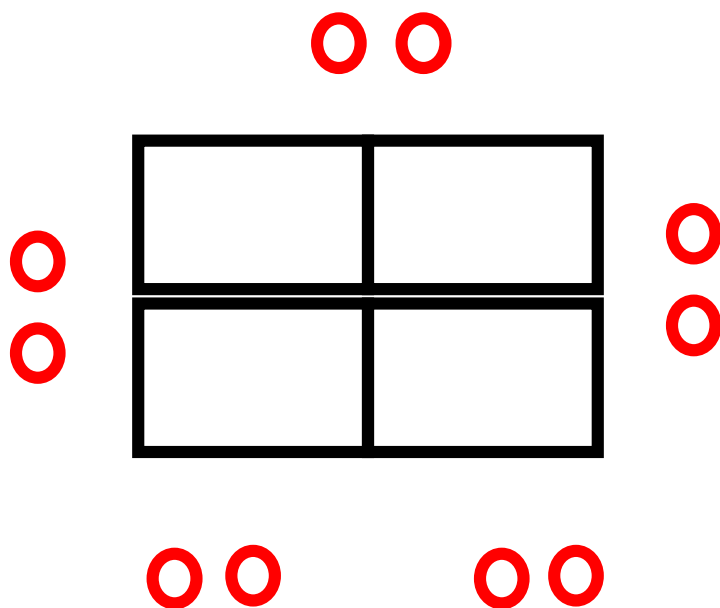
ワーク2 「数取りゲーム」

原則、2人組 5 チームで対戦 チームのカードの色が混ざらないようにしてください

【ルール】

- 1 「場」の中央に「得点カード」を裏返しに置き、一枚ずつ表にする。出た「得点カード」に対して、各チームが一斉に自分のカードを出す。
- 2 「得点カード」が正の数の場合 = 一番大きな数字を出したチームの得点になる
- 3 「得点カード」が負の数の場合 = 一番小さな数字を出したチームの得点になる
- 4 同じ数字を出した場合は次の大きな(小さな) 数字を出したチームの得点になる
- 5 出したカードは二度と使えない。15回行い「得点カード」の最も大きなチームが勝ちになる

「数取り」ゲーム



2人ペアで
5チーム 1組

「数取りゲーム」ルール

- 1 真ん中に「得点カード」を裏返しにして置き、
1枚ずつ「おもて」にする。その数字が得点になる
- 2 各チームが好きな数字を一斉に出す。
 - *「得点カード」が正の数字の場合
⇒一番大きい数字を出したチームがもらえる
 - *「得点カード」が負の数字の場合
⇒一番小さい数字を出したチームが引き取る
- 3 出した数字が同じ場合⇒次に大きな(小さな)数字を出したチームが「得点カード」を得る
- 4 1 5 回行い、最も得点が多いチームが勝利

問い

このゲームを行って、あなたが気が付いたこと、学んだことを言語化してください。

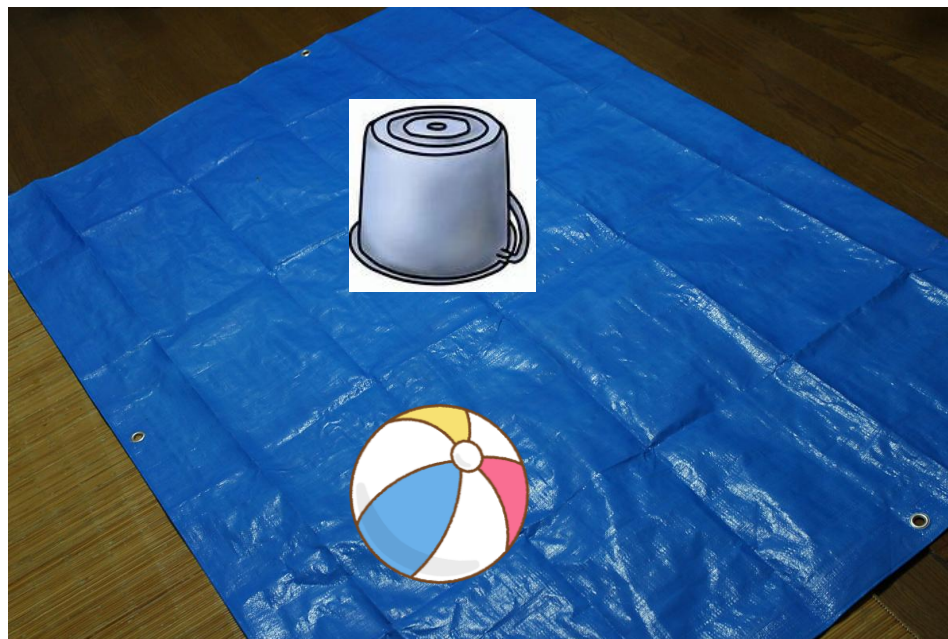
- ・ゲームそのものに対して
- ・二人でゲームを行うことに対して

「心理安全性」を高めるためには、どういうことが大切になるのだろうか？

ワーク3 「ボールあおり」

1 チーム 8 人前後で調整する。

ブルーシートの上にボールとバケツをさかさまにして置く
メンバーは、シートの周囲を取り囲み、シートの端をつかんでバタバタ上下させて、ボールをバケツにいれて、バケツを立たせるまでの時間を競う



ワーク4 コミュニケーション・ボール

- ・ 6～10人グループで分かれる
- ・ 机を寄せ合って大きなテーブルを作り、メンバーはその周りに立つ
- ・ 自分をどのように呼ばれたいか、自分の「呼び名」をアイパッドに書いて机上に示す
(呼び名は自分が呼ばれたい名前で、本名、理想の俳優、憧れの人、何でも良いとする)
- ・ ボールを持っている人が投げたい相手の名前を呼び、呼ばれた人は**「はい」と返事する。**
返事が聞こえたら相手にボールを投げる
- ・ 返事をもらう前にボールを投げてはダメです。

ワーク (つづき)

- ・ ボールは相手に思いやりを込めて投げる
- ・ 受け取った人は同じ要領で他の誰かにボールを投げます。これをつなげていきます。
- ・ グループのメンバー全ての人が**まんべんなく呼ばれるように配慮して行う**
- ・ 慣れてきたらボールを2つに増やします
- ・ 2つめのボールは1つめのボールが投げられた跡をたどって、ついていくだけ。
- ・ 言葉や名前を呼ばずに、アイコンタクトなどで回す。
- ・ 慣れてきたらボールを更にもう一つ増やします。

問い

あなたがチームの中で安心感を持つために必要となる要件になるものは何だろうか？

「心理安全性」を高めるためには、どうすることが大切になるのだろうか？

「心理安全性向上について」 年 組 番 氏名()

あなたがチームの中で安心感を持つために必要となる要件になるものは何だろうか？

「心理安全性」を高めるためには、ということが大切になるのだろうか？